

パラ五輪選手 発掘せよ

県障害者スポ協が関市で教室

ゴールボールなど 40人が3種目に挑戦

県障害者スポーツ協会は、関市若草通の市総合体育館で初の「障がい者アスリート発掘教室」を開き、障害者やスポーツ指導員ら約40人がパラリンピック3種目に挑戦した。

(青山和史)

2020年の東京パラリンピックに向け、県内の障害者スポーツ人口の拡大を図ろうと開催。障害の区分や程度を問わず参加者

を募り、競技を広くPRしようと指導員にも参加してもらった。視覚障害者によるボールゴールボールは、ロンドンパラリンピック

で金メダルを獲得した中嶋茜さん(中津川市出身)や日本協会の水野慎治監事らが講師を務め、参加者はコート

の設置や自働しをして実際の競技を体験。元日本代表の竹腰徹さん

の設置や自働しをして実際の競技を体験。元日本代表の竹腰徹さん

(42)岐阜市、近石クリニックは「若い選手がもっと出てくる」と期待した。その他、ボッチャとシツティングバレー競技も行った。

来年2月13日には長良川テニスプラザ(同市長良福光)で車いすテニスの教室が開かれる。

問い合わせは同協会、電話058(273)1111。



障がい者アスリート発掘教室

ゴールボールのコート設置を学ぶ参加者ら。関市若草通、市総合体育館